

龍谷大学図書館長 殿

所属・職名 国際学部・教授  
氏名 三谷 真澄2022年度 大型図書 研究成果（経過）報告書

このことについて、下記のとおり報告いたします。

購入資料名 「聖語蔵経巻 第五期 乙種写経 第五期9回配本 DVD 4枚」	採択年度  2021年度
<p>1. 研究の概要について</p> <p>本資料は、東大寺尊勝院所蔵の古写本を集大成する「聖語蔵経巻」のうち「乙種写経」のカラーデジタル版である。このたびの配架によって乙種写経を含む「聖語蔵経巻」の一大叢書が本学に全巻整備されたこととなった。</p> <p>この種の出版物の性格上頒布数が寡少であり、この機会を逸した場合、購入できない可能性があり、叢書の一部を欠いたものとならざるを得ない。このことは図書館にとっても、研究者にとっても非常に不便となる。そのような難を避けるために、本学図書館に一括配備する必要があると考え、申請に至った。</p> <p>「龍谷大学深草図書館に来れば、聖語蔵の全画像が見られる」という希有な研究環境を整えたこと自体に、大きな価値があると考えている。今回購入した資料に加え、2022年度にも申請・購入・配架することができた。これらを直接使用した直近の研究成果を出すこともさることながら、大学内の教員・非常勤講師・諸センター所属の研究者（嘱託研究員）・院生を含む学生にとどまらず、学外の研究者に開かれた資料であることの方が重要である。</p> <p>将来的にはこの種の基礎資料は、インターネットを通じて国内外に公開されることが望ましいが、現時点ではそのような動向になく、正倉院の現物資料を実見するか、本DVD資料によるほかはない。前者はほぼ不可能であり、現時点では、深草図書館に保管された本資料（画像資料）を適宜閲覧することが最善の方法である。</p> <p>本資料の全巻配備は、本学ならではのブランディングの浸透、特に研究面の支援体制への社会的認識を拡大させる波及的効果をもつことになると考える。</p>	

## 2. 購入資料の活用状況（活用予定を含む）について記入してください。

報告者（本資料購入申請代表者）は、世界仏教文化研究センター基礎研究部門「西域総合研究班」の代表をつとめ、国内外の中央アジア出土資料に関する研究を進めている。敦煌やトルファン出土の古写本のうち、系統を同じくする写本が日本に存在していることが分かっており、中央アジア出土写本と日本の聖語蔵との関連研究を進めることが可能となる。具体的には、中央アジアを経て日本にまで伝わったテキストを持つ仏典がどの程度存在するのか、そのテキストはどのような径路を経て日本にまでたどり着いたのかといった、仏教文献のテキストの系統を知ることができる。

2022年度には、国際仏教学会(International 第19回国際仏教学会(International Association of Buddhist Studies: IABS XIX 2020)大会（於：国立ソウル大学校人文大学）にて、パネル代表者として、大谷コレクションに関する文献資料の紹介をおこなった。

また、報告者は、「古典籍・文化財デジタルアーカイブ研究センター」のセンター長もつとめており、古写本のデジタルアーカイブやその利活用について、本資料の効果的利用の側面から種々の検討をおこなうことも視野に入れている。

さらに、報告者は、武田科学振興財団・杏雨書屋の運営協議員をつとめており、同書屋所蔵の敦煌・トルファン写本を選定して展示会を企画した。「杏雨書屋の宗教文献～『敦煌秘笈』『磧砂版大蔵経目録』とその周辺」（杏雨書屋第75回特別展示会）のための、有形無形の知的財産となり、選定に役立ったことは言うまでもない。

以上のように、本資料の直接的活用とは言えないまでも、国内でも、欠本なく全巻セットで保管する機関は少なく、種々の図書費を活用しつつ、全学共通資料として、深草図書館に配備される意義は極めて大きいと考える。

今後、当該資料の所蔵について、本学の講義や研究発表だけでなく、国内外のあらゆる場面において周知していくことが大切である。

その一環として、2023年9月3日に、龍谷大学を会場として「日本印度学仏教学会」第74回学術大会が開催される。報告者は、パネル代表として「大谷探検隊と大谷コレクションが拓く知の地平」と題するパネル発表を行う予定である。大谷コレクションの中の文献資料は、その性質上、漢字・非漢字の仏教典籍が多数を占め、関連する資料について言及できればと考えている。

3. 研究発表状況（予定を含む）について記入してください。

- ・【雑誌論文】（著者名、論文タイトル、雑誌名、巻号、発行年等）
- ・【図書】（著者名、タイトル、出版社、発行年等）
- ・【学会発表】（発表者名、発表タイトル、学会名、発表日等）

【雑誌論文】

なし

【図書】

- ・杏雨書屋『杏雨書屋の宗教文献～『敦煌秘笈』『磧砂版大蔵経目録』とその周辺』（杏雨書屋第75回特別展示会図録）武田科学振興財団・杏雨書屋、2022年（三谷真澄：序文、解説、及び参考文献執筆）

【学会発表】

- ・MITANI, Mazumi(Convener): Panel 3: Buddhist Materials Excavated in Inner Asia - Latest Research Results on the Otani Collections in South Korea, China and Japan（第19回国際仏教学会(International Association of Buddhist Studies: IABS)大会 於：国立ソウル大学校人文大学）（対面とオンラインのハイブリッド形式）、2022年8月18日
- ・MITANI, Mazumi: Otani Expedition and Its Collection - Outline and Its Contribution to Buddhist Studies（オンライン：事前録画による）IABS同上、2022年8月18日
- ・三谷真澄（パネル代表）「大谷探検隊と大谷コレクションが拓く知の地平」日本印度学仏教学会第74回学術大会（龍谷大学）、2023年9月3日（予定）
- ・DAKE,Mitsuya: “The Impact of Southern Song Buddhism on the Japanese Pure Land Movement in the Twelfth and Thirteenth Centuries: Shinran’s Thought in the Context of Shino-Japanese Buddhist Exchange”, *International Journal of Buddhist Thought & Cultures* Vol. 32 No.1 (June 2022): Academy of Buddhist Studies, Donggok University, Korea, pp.83-107.<査読有>2022.
- ・早島慧「『大乘莊嚴経論』注釈書における agotra」日本佛教学会2022年度学術大会（於：佛教大学）、2022年10月1日

【講演会】

- ・三谷真澄「展示案内」武田科学振興財団・杏雨書屋第46回研究講演会、杏雨書屋、2022年10月29日

☆資料購入後、**1年以内**に**研究経過報告書**を提出し、また、**3年以内**に**研究成果報告書**を提出してください。  
加えて著書または学術雑誌等により**研究成果の公表または学会発表**をしてください。  
☆公表の際には、参考文献として刊行物に明記してください。